

施設・地域における障害者虐待防止リスト

体制整備チェックリスト はい/できている・・○ いいえ/できていない・・×

実施日: 2024年 1月 1日

スタッフ氏名		A	B	C	D	E	F	G	H	I	改善の方向性
規定、マニュアルやチェックリスト等の整備											
1	倫理綱領、行動規範等を定めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	職員間で定めている内容を確認し、研修会のテーマとしても取り上げている。
2	倫理綱領、行動規範等について職員への周知徹底ができています。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	研修資料の読み合わせなど、常勤職員以外にも周知を継続していく。
3	虐待防止マニュアルやチェックリスト等を作成している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	虐待防止マニュアルやチェックリストを作成していることを継続周知していく。
4	虐待防止マニュアルやチェックリスト等について職員に周知徹底するとともに、活用している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	今後も周知徹底に努め、虐待防止・身体拘束適正化委員会などで話し合いの機会を設けていく。
5	緊急やむを得ない場合の身体拘束等の手続き、方法を明確に定め、職員に周知徹底するとともに、活用している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	今後も周知徹底に努め、虐待防止・身体拘束適正化委員会などで話し合いの機会を設けていく。
6	身体拘束について検討する場を定期的に設けている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	定期的に虐待防止・身体拘束適正化委員会を開催している。
7	緊急やむを得ない場合の身体拘束等について、利用者(家族)に説明を行い、事前に同意を得ている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	必要と思われる場合は、事前に保護者と話し合い、同意を得て書面を作成するようにする。
8	個別支援計画を作成し、これに基づく適切な支援を実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	個別支援計画更新前にケース検討を職員間で行っている。今後も支援の方向性を共通理解するよう努めていく。
9	個別支援計画作成会議は、利用者の参加を得て実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	利用児童は参加はしていないが、職員と保護者で面談を通して個別支援に係るアセスメントを適切に実施している。
職員への意識啓発、研修											
10	職員に対して、虐待の防止に関する研修や学習を実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	定期的に虐待防止に関する研修や学習会を開催している。今後も継続していく。
11	日々の支援の質を高めるための知識や技術の向上を目的とした研修を実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	今後も定期的に研修を続けていく。
12	職員の虐待防止に関する意識、関心を高めるための掲示物などを掲示している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	掲示物はあるが、より一層職員間で周知し、意識、関心を高められるよう努める
13	職員チェックリストの活用を図り、職員の虐待に対する意識や日々のサービス提供などの状況把握に努めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	チェックリストの活用を図り、虐待に対する意識やサービス提供等の状況把握に今後も努めている。
14	早期発見チェックリストの利用の徹底を図るとともに、発見時の報告、対応等について明確にしている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	チェックリストの利用を徹底し、報告、対応についても職員間で共通理解をしていく。
外部からのチェック											
15	福祉サービス第三者評価事業を活用し、サービスの質の向上等に努めている。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	現在のところは活用していないため、今後必要であれば活用の検討をしていく。
16	福祉サービス第三者評価事業を一定の期間ごとに継続的に受審している。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	現在のところは受審していないが、必要に応じて検討していく。
17	虐待の防止や権利擁護について継続的に外部の専門家や法人内の他の施設の職員等による評価、チェックを受けている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	現在は外部からの評価・チェックは受けていないが、法人内の施設職員からの評価・チェックは行っており、今後も継続していく。
18	施設、事業所の事業、監査において虐待防止に関わるチェックなどを実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	職員間で施設・事業所の事業について定めている内容を確認し、保管場所についても周知していく。
19	ボランティアの受け入れを積極的に行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	放課後等デイサービスで仕事をされた方や教員経験のある方をボランティアとして受け入れている。
20	実習生の受け入れを積極的に行っている。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	現在のところ、該当する実績は無いが希望があれば積極的に受け入れを行っていく。
21	家族、利用希望者の訪問、見学は随時受けている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	見学や訪問は随時受け入れを行っている。今後も希望があれば積極的に行っていく。
苦情、虐待事案への対応等の体制の整備											
22	虐待防止に関する責任者を定めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	虐待防止マネージャーを定めて体制を整えている。
23	虐待防止や権利擁護に関する委員会を施設内に設置している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置し、体制を整えている。
24	苦情相談窓口を設置し、利用者にわかりやすく案内するとともに、苦情解決責任者を規定等に定め、利用者からの苦情の解決に努めている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	責任者を定めて掲示している。今後も保護者にも分かりやすい案内ができるよう努めていく。
25	苦情相談への対応について、第三者委員を定め、利用者に案内をしている。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	現在のところ第三者委員会は定めてはいないが必要に応じて検討する。
26	職員が支援などに関する悩みを相談することができる相談体制を備えている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	支援に関する悩みを相談できるよう日々のミーティングなどを行い、体制を整えている。今後もより一層相談しやすい環境づくりに努めていく。
27	施設内での虐待事案の発生時の対応方法を具体的に文章化している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	虐待防止マニュアルにより具体化している。今後も職員間で周知徹底していく。
28	施設内での虐待事案の発生した場合の再発防止策を具体的に文章化している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	再発防止策についてリスク管理マニュアル等で具体化している。今後も周知徹底していく。
その他											
29	施設において利用者の金銭および貴重品を預かっている場合、その管理は複数の職員によるチェック体制のもとにされている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	貴重品の管理は利用者による自己管理となっているが必要に応じて預かりチェックをずらす体制を整えている。
30	施設は、利用者またはその家族の意見や要望を聴く場を設けている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	アンケートや送迎時等にお伺いすると共に申し出があればいつでも対応できる体制になっている。
31	施設経営者、管理者は職員の意見や要望を聴く場を設けている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	定期的な会議や日々のミーティングなどを含め、職員の意見や要望を聞く場を設けている。
32	施設経営者、管理者は施設職員同士がコミュニケーションを行う機会の確保に配慮や工夫を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	日々の業務は常にコミュニケーションを取りながら遂行している。
33	利用者の希望や必要に応じて成年後見制度の利用支援を行っている。	×	×	×	×	×	×	×	×	×	制度を実施した実績は無いが、今後必要があれば支援を検討していく。
34	希望や必要に応じて成年後見制度の活用等について利用者、家族に説明を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	制度を実施した実績は無いが、必要に応じて説明している。
35	利用者・家族、一般市民やオンブズマンなどからの情報開示にいつでも応じられる準備をしている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	情報開示には適宜応じられる準備をしている。
36	虐待の防止や権利擁護について利用者・家族、関係機関との意見交換の場を設けている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	関係機関との意見交換の場は設けているが、ご家族・利用者様については今後検討していく。